

# 道路老朽化に立ち向う インフラメンテナンス

# パネル展

橋梁

約730,000橋

トンネル

約12,000本

50年経過

全国30%超え(橋梁)



「道路老朽化に立ち向うインフラメンテナンスのパネル展」を開催!!

日時

2025年 3月4日(火)~23日(日)

午前10:00~午後6:00  
(土・日・祝は午後5:00まで)※休館日/月曜日

入場無料

場所

名古屋都市センター  
愛知県名古屋市  
中区金山町1-1-1  
金山南ビル11階  
まちづくり広場





# 道路の安全・安心の最前線

## インフラ設備の寿命と闘う技術者たち

全国の橋梁は約730,000橋、トンネルは約12,000本。その約半数が高度経済成長期に建設されました。建設後50年をむかえた道路は急速に老朽化が進んでいますが、社会インフラとしての重要性は高く、今後も安全に、安心して道路を利用していくためには「メンテナンス」が必要不可欠です。

今回のパネル展では、道路の老朽化の現状や補修・更新を的確に行うための取り組みとともに、メンテナンスを支える技術者たちの姿を捉えた写真などを展示します。

私たちが利用する道路がどのように守られているのか、この機会にぜひご覧ください。

### \* 展 示 内 容 \*

#### 「インフラメンテナンス」パネル展

道の歴史から橋梁等の損傷状況、現在及び今後の対応の取り組みをパネルでご紹介します。

#### 「インフラメンテナンスを支える技術者たち」写真展

橋梁やトンネルなどの老朽化に立ち向かい、  
インフラメンテナンスに取り組む技術者たちを追いかけ写真撮影している  
写真家「山崎エリナ」の写真を展示します。



〔協賛〕写真家 山崎エリナ

兵庫県神戸市出身。1995年渡仏。パリを拠点に3年間の写真活動に専念。40カ国以上を旅して撮影を続け、エッセイを執筆。帰国後、国内外で写真展を多数開催。雑誌・広告・映像などで活躍。海外での評価も高く、ポーランド美術館にて作品收藏。2018年「インフラメンテナンス写真展」を福島、仙台、東京ビックサイトにて開催。「日経コンストラクション」の2019年年始号では、「山崎エリナが捉える『土木の真髄』」(前編)「山崎エリナがほれた『土木人の顔』」(後編)と2回にわたって巻頭ページ掲載、土木現場で働く人をクローズアップした写真が注目を浴びる。

### 同 時 開 催

#### 「ちびっこカメラマン」 優秀作品写真展

平成8年から毎年開催されている「ちびっこカメラマン」

(主催:一般社団法人中部地域づくり協会)。

小中学生が撮影した身近にある「道」または「川」のある  
風景写真の中から、優秀作品を展示します。

#### 「国土をつくる人」 写真展

良質な社会資本整備とその現場で働く人々を題材に  
した「国土をつくる人写真展」(主催:中部建設青年会議)の  
入賞作品を展示します。



国土交通省 中部地方整備局

中部道路メンテナンスセンター

Chubu Road Maintenance Management Office